

平成 30 年度国際文化交流学科一般入試 (A 日程) 小論文

I

[出題意図]

地域活性化に向けた地域づくりの取組みにかかわって、リーダー、地域住民の当事者意識、地域独自の価値観のあり方などを論じている文章を読み、筆者の主張を正確に読み取る力、地域活性化に関して自分の言葉で論じる力をみる。

[評価基準]

問 1 では、かつてはリーダーの存在が決定的な要素であったが、最近では複数の者が役割を分担することが一般的であり、それは結局地域住民全体の問題すなわち当事者意識の問題であるという、筆者の主張を正確にとらえているかどうかをみる。

問 2 では、自らの暮らしをめぐる独自の価値観の再構築が必要、と述べている筆者の主張を理解できているかどうかをみる。

問 3 では、地域活性化において重要となる「暮らしのものさし」の概念を正確に理解したうえで、暮らしのものさしの例示とそれに対する論述を求め、その論述における具体性と説得性、課題を論じる場合の論理性、文章表現力を評価する。

II

[出題意図]

日本社会では当たり前存在であるコンビニエンスストアが、海外でどのように受け止められているかという問題文を正確に把握しているかどうかを見る。その上で、グローバル化する地域社会という観点から、コンビニエンスストアの役割を論ずる。自身の体験に基づく想像力も見る。

[評価基準]

問 1 では基本的な英文理解を見る。

問 2 では自分の考えを自分の言葉でまとめる力を見る。評価の重点は文章の論理性と発想の豊かさに置き、英文の問題文を理解しているかどうかも評価対象とする。